

推薦入試の対策と、
一般入試の勉強を
両立できた。(慶應義塾大学 文学部)

伊藤先生と
岡本先生には
本当にお世話
になりました!

(北海道大学 文学部)

中野先生のお
かげで
物理が好きに
なった!

(名古屋大学 理学部)

スタディサプリ

先輩の声 ぞくぞく!

初めて
夢中で楽しく
勉強できた!

(専修大学 法学部)

関先生に
ついて行って
よかった。

(同志社大学 商学部)

小論文や
総合型対策も
あるのが
よかった。

(千葉大学 工学部)

早稲田大学に
現役合格
できたのは
スタディサプリ
のおかげ!

(早稲田大学 人間科学部)



\\ 実力派講師の講義で、理解度アップ、進路実現を目指そう! //

特長

1

スタディサプリには一流プロ講師陣のわかりやすい講義が集結



英語教育界の
革命児
関 正生



数学の本質理解の
トレーナー
山内 恵介



いともしろくする
古典コンダクター
岡本 梨奈



本質を突く難関大
物理のエキスパート
中野 喜允



社会科を
爆笑させる風雲児
伊藤 賀一



世界史の現場を
熟知する旅人
村山 秀太郎

その他多数の一流講師が集結!

特長

2

レベル別・単元別の豊富な
講義動画で自分に合った講義が見つかる

特長

3

いつでもどこでも活用できる
スタディサプリなら部活や習い事と両立できる

到達度テストとスタディサプリの使い方

年に2回、春と秋に英・数・国の3教科で基礎学力を測る「到達度テスト」を実施

到達度テストと
スタディサプリを
活用することで
学力アップを実現！

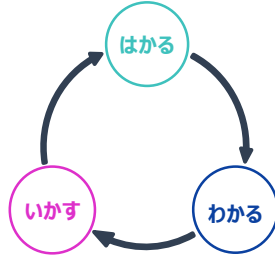
到達度を「はかる」



到達度テストは自分の苦手を知るためのテストです。「何ができていないのか」を明らかにすることで、今後の勉強に活かすことができます。

学習に「いかす」

つまづいた単元は連動している講義動画で学習することができます。わかりやすい動画で学習することで、効率よく、つまづきを克服することができます。



つまづきが「わかる」



到達度テストの測定結果は個人結果レポートとして確認可能。一人ひとりのつまづいた単元にあわせて講義動画をレコメンドします。

ポートフォリオ機能や連絡機能

スタディサプリには学習支援機能に加えその他の機能も搭載！

ポートフォリオ

●ポートフォリオとは？

部活や学校外の活動成果など、**高校生活のさまざまな活動の記録をデジタル化して残すことが可能**です。デジタルで記入するため、保存性が良く整理整頓が可能です。効率的に記録を振り返りやすくなることで、気づきや学びの機会が増やせます。

今後は社会・入試において、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をより積極的に評価するようになります。そのため日常的に活動履歴を記録していくことが、自分の主体性を正しく評価してもらうカギになります。



スタディサプリの主なポートフォリオ機能は、研究活動や部活動、学校行事などでの自分の気づきを記録・蓄積することができる**活動メモ**と、先生からのアンケートに簡単に答えることができ、答えた内容を見返すことで自分自身の振り返りにも活用できる**アンケート**があります。

コミュニケーション

●生徒へのお知らせ機能・連絡機能

スタディサプリ for SCHOOL

クラスや部活・委員会など特定のグループや個人に対して先生から生徒にお知らせが届きます。PDFや画像を添付することで**プリントを紙ではなくデジタルデータで受け取ることが可能です**。



●保護者へのお知らせ機能・欠席連絡機能

スタディサプリ for PARENTS

学校や先生からのお知らせをオンライン上で受信することが可能です。PDFや画像の配信も行われ、データでの受け取りができるようになります。また、欠席時の連絡をデジタル上で行える欠席連絡機能も利用できます※。

利用には生徒とは別に保護者アカウントの登録が必要となり、学校として利用する際は登録のお願いが別途案内されます。

※本機能を利用するかは各学校の判断となります。
※生徒同士・保護者同士の連絡には利用できません。

その他にもこんな機能が！

確認テスト

スタディサプリの各講義末にあるオンライン上の小テストです。動画の内容をしっかりと理解できているかをチェックすることができます。

アダプティブ学習機能

スタディサプリ内における過去の学習履歴データを元に、それぞれの利用生徒が「今学習すべき」最適な講義についてAIがおすすめする機能です。
※対象の講義のみで表示されます。

講義テキスト

講師監修のスタディサプリ講義テキストのPDF版を無料でダウンロードすることが可能です。紙版の冊子型テキストも別途有料で購入可能です。